



Title	故人をしのんで
Author(s)	今田, 光三
Citation	井戸武實の歩みと追悼集. 2025, p. 10-11
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/100720
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

故人をしのんで

今田光三

一般財団法人 大阪防疫協会 理事長

原稿締め切り！日前に、まさかの追悼集作成の依頼が飛び込んできました。最初は急な依頼で断ろうかと考えていたところ、「原稿書いてもらってありがとう」と笑顔で微笑む故井戸さんの姿が、頭の中にふっと浮かびました。これには心を打たれ、「これは受けなければ」と思い立ち、今ここで思いつくままに書かせていただきます。

私が故井戸さん（ここでは親しみを込めて「彼」と呼びます）と共有した数々の思い出の中でも、私の所属する（一財）大阪防疫協会と一緒に講演会を実施したことは特に心に残っています。彼は（公財）大阪公衆衛生協会の事務局長として、いつも熱心で情熱的に活動していました。

講演会の準備中、幹事会では激しい意見交換があり、意見が割れることもありました。しかし、彼はその後の調整を通じて、関係者の了解を得るために尽力しました。その姿勢から私は多くを学び、困難な状況にも果敢に立ち向かう彼の姿勢には本当に感銘を受けました。

また、多くの公衆衛生業務の関係者とのふれあいの場では、彼の親しみやすい対応が際立っていました。関係者との対話を通じて深い人間関係を築き、その温かい人柄は多くの人の心に深く残りました。

私も彼と同じ団体の理事（当時は大阪公衆衛生協会理事も兼務）として彼と共に活動する中で、いつも前向きで明るく元気な彼の姿勢を見てきました。彼のサポートは私にとって本当に大きな支えとなり、困難な状況にも謙虚に対応する姿勢から学ぶべきことがたくさんありました。

さらに、仕事を通じて共に活動する中で、共通の理解者である林田大阪大学名誉教授との思い出も忘れられません。特に大阪大学 OUKA に（一財）大阪防疫協会の機関誌掲載をお願いした際、林田教授の熱心な協力に感謝しています。3人での信頼関係をもとに機関誌掲載に向けて取り組んでいただいた姿勢には本当に感動しました。

彼の存在が私たちに与えた影響は計り知れず、その功績は永遠に私たちの心に刻まれています。心からの感謝の気持ちとともに、故井戸さんのご冥福をお祈りします。



講演会の後、左から井戸武實大阪公衆衛生協会事務局長、高野正子大阪公衆衛生協会会长、
關淳一元大阪市長、今田光三大阪防疫協会理事長（写真提供）

（2019年1月15日 於國民會館住友生命ビル）